



## 知っておきたい 災害時の避難について



近い将来必ず起こるとされている震災や、その他の災害に備えて、人のみではなく動物の事についても知っておく必要があります。  
当院では、災害マニュアルを作成して防災に取り組んでいます。  
いつ起きてても慌てないように、防災について見直していきましょう。

災害時、残された動物の環境を考慮して避難時は同行避難を環境省が推奨しています。  
最近では同伴避難という言葉も耳にするようになりました。  
同行避難と同伴避難の違いを説明します。

### 同行避難



避難時、動物と一緒に避難所まで避難する事です。  
避難所に着いてからは人と動物それぞれ別の場所で避難生活を送ります。



### 同伴避難

同行避難と同様に避難所まで避難します。  
その後、避難所でも動物と同じ生活スペースと一緒に避難生活を送る事が出来ます。

同伴避難は、すべての人が動物が好きというわけではなく、命に関わるアレルギーを持っている人もみえるので現状では困難とされています。



### 避難の時に困らないようにするためには・・・

- 避難所の生活に対応できるように日頃からケージに慣らしたり、しつけや社会化を身につけましょう。ストレス軽減や周りの人の理解にもつながります。
- たくさんの犬や猫、小動物が集まるので、感染予防のワクチン接種やノミ・マダニなどの予防をしましょう。
- 普段の散歩中に避難ルートを確認したり、災害時倒れてきそうな塀や増水しそうな水路をチェックしておきましょう。
- 災害状況によって避難所の対応が変わるので臨機応変に動きましょう。  
また事前に同行・同伴避難できる避難所を確認する事はできません。



災害が起きた時準備してあるといい物を、優先順位1と2に分けてまとめました。

## 優先順位1

### キャリーケース・ケージ

キャリーやケージは混雑する避難時に動物を守ったり、動物がパニックを起こした時キャリーに入れることで逃走・失踪など最悪の事態を防ぐことができます。また猫の場合は飛び出し防止として洗濯ネットなども用意しておくとう安心です。



### 予備の首輪・リード・ハーネス

切れにくいワイヤー入りのリードや新品の首輪を用意しておくとう良いです。



### 迷子札・写真・ワクチン証明書・既往症をまとめたメモ

写真は飼い主と動物一緒に写っているものが好ましいです。

また迷子札や首輪・鑑札は、逃げた時、何かに引っかかって外れてしまったり、劣化して落としてしまい紛失の可能性があります。事前にマイクロチップを入れると一生涯体内に残るので紛失する事はありませんし、個体識別ができ、逃げ出し保護された時の再会率があがります。

### 常備薬

常備薬の名前が分かるようにしましょう。



### 水・フード・食器

最低でも3日分は用意しておきましょう。

## 優先順位2

### トイレ用品

【犬】シーツ・トイレトペーパー 【猫】段ボール・砂

トイレ用品は臭いの対策が出来るものが理想的です。

段ボールは猫の簡易トイレにできます。砂などはペットボトルに入れておくとう持ち運びが楽になります。



### ドッグウェア・くつした



ドッグウェアは抜け毛が落ちるのを防ぐ為に、くつしたは瓦礫やガラスなどを散歩時踏まないように用意しておくとう怪我防止になります。

### おもちゃ・おやつ

日頃から使用している物を用意しましょう。



防災は日頃からの意識が大切です。事前に用意できるものは準備して、すぐ持ち出せるようにしておきましょう。何かご不明な点、気になる事がありましたらお気軽に病院スタッフまでお声がけください。

